

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2013年11月

結婚の『誓い』?

チャペルでの結婚式。

「健やかなるときも、病めるときも、喜びのときも、悲しみのときも、富めるときも、貧しいときも、これを愛し、これを敬い、これを慰め、これを助け、その命ある限り、真心を尽くすことを誓いますか？」

新郎新婦、それぞれ「はい、誓います!」。……このように「誓った」記憶のあるご夫婦も、少なくないのでは。さて、その後いかがですか。誓いは果たされ続けていますか。

「いやあ。式では『決まり文句』として言いましたけどね、別にそんな、大それたモノではありませんよ。それにね、もうお互い若くないしね」——そんな「言い訳」も聞こえてきそうですね。「神様の前で誓った」はずなんですけどね。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

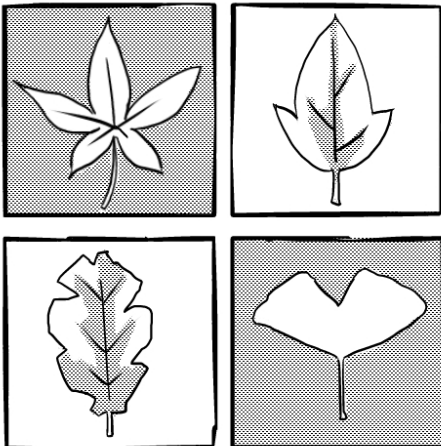
神は、愛である。

『愛』は、どこから?

最近では離婚の数が増えて、シングルマザー、シングルファーザーの家庭も多くなりました。統計上でも、離婚数は婚姻数の 3 分の 1 を超えています(平成 24 年人口動態統計)。あの『誓い』は一体どこに行ってしまったのでしょうか。

「もう愛していないから」「愛が冷めてしまったから」そんな返事も帰ってきそうですね。でも、聖書にはこう書かれています。

愛はいつまでも絶えることがない。 (新約聖書 コリント人への第 1 の手紙 第 13 章 8 節)



無くなってしまったり、冷めてしまったりするようなモノは、そもそも「愛」ではないと。聖書に書かれている「愛の定義」は、とても高潔で、驚くべきものです。

愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

「そんな『愛』、誰が持てるんだ？ 不可能じゃないか！」そう叫びたくなるなら、それはとても正直で、謙虚な認識を持っていることになります。

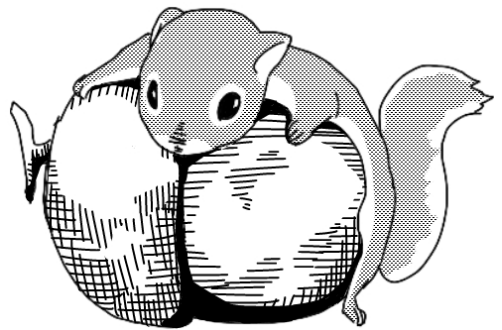
神は愛である。(新約聖書 ヨハネの第1の手紙 第4章8節)

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって (同 10節)

「本物の愛」は、天地を創造した本当の神さまから来るものです。この神さまを知り、神さまからの愛を受け入れるなら、あなたの内に愛が溢れてくることでしょう。神さま無しで努力や鍛錬によって愛を形作ろうとしても、それは徒労に終わることでしょう。

「神」という存在を、単なる空想の産物とか心の安寧のための方便などと捉えているなら、「神からの愛」など受け取りようもありません。神さまを知り、その愛を実感して初めて、聖書で語られている「愛」を知り、それを欲しいと思うことができるようになります。

イエス・キリストを通して表された神さまの愛。求める者に惜しみなく与えられる愛を、ぜひ求めてみて下さい。



祈ってみましょう

「神は愛である」と読みました。神さまからの

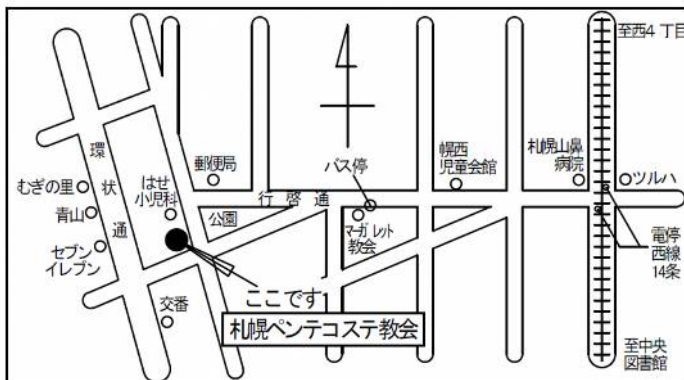
クリスマス集会のご案内

「本当の愛」を受け取ってそれを実感できるように、その愛で満たされて、愛にあふれた人生を歩むことができるように助けて下さい。イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

クリスマス礼拝 12月22日(日) あさ10:30~12:00

キャンドル礼拝 12月24日(火) よる7:00~8:30

どちらも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車
JR札幌駅札幌ターミナルから、
JR北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車